

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年6月2日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600037
法人名	社会福祉法人 豊生会 みゆき苑
事業所名	グループホーム曾於
所在地	鹿児島県曾於市財部町南俣99-1 (電話) 0986-72-3034
自己評価作成日	令和1年5月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年5月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム曾於は、自立・快適・安心をモットーとして、財部町の自然豊かな環境の中で、自立をめざして「自分のペース」・「自分らしく」・「快適に」・「安心して」生活して頂けるよう、今までの馴染みの家具や使い慣れた食器・お箸なども使用して頂きながら、スタッフや他の利用者様と少人数でゆったりとした共同生活を営み、家庭的な生活の中から苑庭の野菜作りをし食事に提供したり、安心感や信頼関係が生まれ、認知症が緩和されるようお手伝いしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、財部町市街地にあり閑静な場所に位置しているが、近隣には財部支所や郵便局、道の駅、小学校などがあり幹線道路にも程近いためアクセスや利便性の良い環境にある。ホーム隣接の公園には、市民が集い花見の時期や四季折々の憩いの場所になっており、職員は利用者や鯉を見に行ったり、散歩に出かけるなどして日常的に外出を支援している。

自治会には加入していないが、運営推進会議を通じて民生委員などを通じて地域の情報を得て、夏祭りに参加したり、災害を想定した避難訓練や炊き出し訓練などを通じて地域との協力体制を構築している。また毎年度、中・高校生の職場体験やボランティアの受け入れを行い、保育園児との交流活動にも積極的に参加するなどして地域と繋がるよう工夫している。

ユニットごとにメニューは異なるが、菜園や差し入れの新鮮な野菜を活用し、料理やおやつに取り入れ、個々に応じた力量を活かしながら、食への興味や関心を引き出し、家族や地域の方々と共に食卓を囲み食事が楽しみになるよう食事を提供するなど工夫している。外食は、家族の協力をもらっているが、出前を取ったり、苑庭でお茶をしたり花見をするなどして四季を感じてもらっている。また、干し柿、金柑漬けなどの保存食も季節を感じさせる食への取り組みになっており、口腔ケアや嚥下体操にも力を入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	日々の業務の中で個人が、理念を確認し業務を行い。又理念は玄関、事務所に提示するなど職員のみでなく来苑者にも理解してもらえるようにしている。	開設当初からの理念があり、単年度の職員の目標達成も合わせて職員全員で取り組むとともに理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加により関係作りに力を入れている。保育園運動会参加や、ボランティアの受け入れを行い地域との関係作りに努めている。	自治会の活動状況などは民生委員などから情報収集しているが、地域と災害における避難訓練や炊き出し訓練などを行った。毎年、保育園の運動会に参加したり、行事の際のボランティアや中・高生の職場体験を受け入れ交流活動を支援している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域での様々な研修に参加しているが、地域の人々に向けて活かせる機会がない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の家族・役所介護保険課・社会福祉協議会・民生委員・ボランティア方々の参加協力により活動報告を行い意見交換等発言が、活発に行われている。	会議では、利用者の暮らしぶりや活動状況、アクシデント、ヒヤリハットなどを文書化し報告して再発防止について話し合っている。また、文書だけでなく写真も使い、より一層理解が深められるよう議事録を工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を行い現状や取り組みについて伝え、市からの情報や助言を頂き活かしている。	市主催の市民祭には、管理者がスタッフとして参加し協力関係を築いている。管理者は、ホームの行事の案内書を担当者に届けるなどして参加を呼び掛け事業所の取り組みなどを伝え相互に協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	業務の中で、職員がその時その時の状況で、身体拘束か考え他の職員との相談をしながら、拘束しないケアに取り組んでいる。	毎月、ユニット会議で身体拘束適正化に向けた話し合いが行われているが、センサー類の使用についてもカンファレンスや担当者会議などで、必要性や廃止に向けて検討されるなどしている。法人との合同研修会への参加もあり職員の意識づけになっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士がお互いに注意しあえる職場作りに努め虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で学んだ事は、スタッフ全員が回覧できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等に関しては利用者、家族の立場に立ち、契約書類を説明して、不安がない様に対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族面会時に利用者様の状況報告を行い、相談や方向性を話し合っている。 日頃のケアの中で何を求められているかを考え、対応している。	利用者や家族との信頼関係を作り、忌憚なく意見や要望が出せるようコミュニケーション活動に力を入れている。家族には、面会時はもとよりお便りにて生活状況を報告し、要望などを聞き取るようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り・ミーティング等での意見交換や提案を通して反映するようにし、玄関に職員用の意見箱を設置している。	職員用の意見箱を設置して活用されているが、直接、管理者と面談にて意見、提案などを表せる機会も多い。職員の異動は少ない、現在は離職者も少なく職員間の関係性も良好であるが、重度化もあるため業務内容を工夫し職員の負担軽減を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務希望や有休の取得は可能な限り調整している。 個々の努力や勤務状況を把握して、各自が向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勉強会や希望する職員には、研修を受けるように調整している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会による研修等に参加し情報を得て、サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意思伝達可能な利用者様に対しては、会話等から意向・要望を聞きたいが、困難な利用者様に対しては、表情や家族様からの情報提供を受け信頼関係を築けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時や毎月の手紙にて本人様の状況を説明し、面会時に生活の状況などを観て頂いたり、家族様の意向を訪ねて安心して入所して頂けるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談や見学に来られた時柔軟に相談に乗り、他のサービスも利用できるような対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の得意なことを学んだりして、支えあう関係を築いている。また、職員より話題を提供し利用者様が話しやすい様に配慮に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月一回の手紙にて本人様の状況を報告し本人様の希望が強い時には、電話で話しをされたり、面会のお願いをしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り利用者様の希望に添えるように努め、ご家族様にも協力をして頂いている。	携帯電話を自由に掛けて家族などと連絡を取る方がおられたり、同じ集落の方が遊びに来られているが、居室などでゆっくり歓談できるよう配慮している。また、散髪や美容院、墓参りなど本人の希望に応じて職員が同行し関係性が途切れることがないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人のこれまでの生活歴や性格を尊重し支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等による他施設への移設の場合も面会に出かけ、その状態や状況を他の職員に情報提供している。また、施設紹介や相談にも応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症の程度にもよるが、本人様と共に生活していく中で、会話や行動から、本人様の思いや希望をくみ取る努力をしている。	意志疎通の図りづらい方や発語の少ない方などもおられるが、本人に寄り添うケアを心がけることで、本人の思いに触れ、家族や職員間で共有できるよう努めている。本人の楽しみや活動していることが継続していけるよう本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族様との話の中で情報を引き出し本人様を知る努力を行い、情報を共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員一人一人が業務の中で、本人様の行動・会話で把握した情報を、他の職員に共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の見直しやユニット会議棟での話し合いを課題に、介護職・看護職の意見を出し合い、ご家族様の意見を配慮して作成している。	ホームでの暮らしが、本人にとって最善のものになるよう、本人や家族の意向を把握し、自律した計画を作成し、本人、家族や職員間で目標を共有して達成に向けて取り組んでいる。定期的にモニタリングした結果を踏まえユニット会議で話し合い、計画の見直しなども柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録及び申し送りノートを作成し、情報の共有をしながら実践・見直し等に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の状況に柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月一回住職様が来られお経・講和をして頂き、本人様の希望があれば、美容院へ出かけるなどができるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と事業所の関係を築き、受診は本人様及びご家族様の希望を大切にしている。必要な時は適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族が希望するかかりつけ医であるが、他科受診などは、家族と話し合いながら職員も同行する。主治医によっては、往診もあるが常時、必要な医療が受けられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	業務の中で、介護職からの情報・状態を確認し看護師に相談し、利用者様が適切な看護・処置・医療機関の受診を支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には定期的にお見舞いに行き、家族や看護師を通じて情報交換や相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人様・ご家族様の意思（思い）を尊重しながら、早い段階からご家族様・医療機関に相談し、事業所としてできることを説明して、今後の方針を共有している。	契約時に、「看取りに関する指針」にて事業所の看取りの方針を説明しているが、重度化については、明確な指針などはないため、今後整備したいと考えている。ただし、「事前意思確認書」を取り交わしており、重度化した場合、早い段階から十分に話し合い事業所ででき得る最大のケアについて説明、対応をおこなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の急変・事故発生時に備え、応急処置や初期対応の勉強会や訓練を定期的に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は実際に消防署救急隊の方に来て頂き、通報から避難終了を行い助言を頂いている。地域交流会の中で協力をお願いをしている。</p>	<p>地域の消防分団との協力体制があり、年2回消防署立ち合いの元、夜間想定にて避難訓練を実施している。居室ごとに避難確認のアイテムが掲示されており、災害に備えて米やジュース類、長期保存のパン、カセットコンロなどの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人様の生活歴や性格を、本人様やご家族様からの情報をもとに知りえたことを職員に共有し、心の負担にならないように、支援に努める。	言葉使いや態度には十分に注意を払い失礼にならないよう対応に気を付けている。法人との合同の研修会に積極的に参加し自己研鑽している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の個々に合わせた声掛けを行い行動や表情から反応を注意深くくみ取るように努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人一人のペースを大切にし、希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の希望に添えるように、美容院に連れて行ったり、来て頂きカットして頂き、身だしなみに気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	苑庭でとれた野菜を提供したり、職員も利用者様と一緒に食事を食べることにより、孤独感もなく楽しい雰囲気作りに気を配っている。	ユニット毎にメニューが異なるが、食事は家族や来訪者にも好評で会食や行事などが楽しみの一つになっている。菜園や差し入れの野菜を活用して、手作りのおやつ作り、行事食に活かしている。出前を楽しんだり、ソーメン流し、スイカ割りなどして季節を味わっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、食事形態、水分量に関しては、個々の状態を配慮しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人の状態に合わせて、出来る方は、声掛けを行い出来ない方は、介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し定期的に、トイレ誘導を行い、尿意があるも失禁の多い利用者様は、声掛けを行い誘導している。	居室にトイレが設置してあり、現在は、ポータブルトイレを使用される方はいない。布下着の方もおられ、排泄リズムを把握し、トイレ誘導にて排泄している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を確認し便秘にならないよう朝礼・申し送りで職員で共有し便秘薬で調整や十分な水分量・繊維質の食事を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の希望・タイミングに合わせて入浴して頂き、拒否される方は声かけを工夫し、職員一丸となり支援している。	週3回を目安に本人の希望や必要性に応じて個々に応じた入浴の支援を行っている。また、同性介助に配慮している方もおられたり、入浴剤を活用して入浴を勧めたりして気持ちよく入浴をしてもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の生活リズムに合わせて、休んで頂いている。本人様の体調にも合わせて日中の休息も取り入れている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書が配布されるので、個々のファイルにて保管しており、全職員が観覧できるようにしたり、処方変更があった時、看護師より朝礼・申し送りにて共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の経験や知恵を發揮できるようにし、苑庭の草取り・野菜の皮むき等をお願いしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人様の希望に添えて外出を行っている。地域交流の夏祭りにも参加し利用者様の気分転換やストレス発散になれるように努めている。	苑庭を散歩したり、近くの川に鯉を見に行く、また、妻に面会に行ったり家族と外出や外食を楽しむなどして日常的に外出ができるよう支援している。また、行事計画に沿って、花見や地域の行事などに参加できるように地域などと連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一部の利用者様が現金を所持しているが、小銭を持っており本人様がお金を持つことにより、安心感・満足感があるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様がご家族様の心配をされたり、不安なことがある時に電話連絡をしている。 手紙でのやり取りをされる利用者様が今はおられない。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天気の良い日には、あずまやで日光浴・お茶会などをして、生活感や季節感を味わえるように支援している。</p>	<p>広々としたホールには、畳スペースがあり、テレビ、ソファが設置されている。採光もあり、清掃が行き届き整理整頓された共有空間である。壁には利用者の作品が掲示されたり、季節が感じられるよう装飾がされている。対面式キッチンであり、利用者と会話したり様子を見ながら調理するなど家庭的な雰囲気である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様の席の配置を工夫しており、自分の時間を過ごしたり他の利用者様と雑談をできるような雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様ご家族様には、馴染みの物を利用する事で安らぎを得ると説明させて頂き、可能な限り自宅と変わらない環境作りに努めている。</p>	<p>居室内に、洗面台、トイレが配置されており、和・洋の居室を本人、家族の希望や本人の身体機能に応じて環境整備したり、選択できるようになっている。思い思いに使い慣れた品を持ち込み、また、趣味や日課が継続できるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>環境が変わり、混乱・不安が生じる時は、その都度職員間で話をし、本人様の原因を取りのぞき安心して生活できるよう支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない